

令和4年度 日吉東校区社協行動計画書

日吉東校区社会福祉協議会

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取組
みんなで支え合い いきいきと暮らせるまち	健康で心豊かなまち	高齢者	●隣近所との関係の希薄化。 ●コロナ禍による地域での交流の場の減少。	●体力維持が困難。 ●外出が不足することによる生活意欲の低下。 ●閉鎖的な高齢者の増加。 ●顔ぶれが変わらない。	●隣近所で訪問したり声かけを沢山行う。 ●地域活動の継続（小規模化・内容の変更）。 ●地域の見守りにより、心身機能が低下した高齢者を把握し、必要時民生委員やささえりあへ相談する。 ●高齢者向けスマホ講座の実施（大学生ボランティアの活用）。 ●積極的な情報提供を行う。 ●体力増進の活動を推進する。	●ふれあい・いきいきサロン・ふれあいランチの充実と参加促進。 ●ささえりあ等の関係機関との連携強化。 ●ささえりあ熊本南各種講座を活用する。 ●広報誌を作成し回覧板を利用して配布を行う。 ●命のバトンの継続と更新。
			●異常気象やコロナ禍による外出の減少。 ●交通手段が不便。	●免許返納等で交通手段の問題を抱えている。 ●福祉サービス等の利用方法がわかりにくい。		
		障がい児・者	●個人情報等の関係で障がい者に関する情報が不足	●障がい者に対する理解を深める機会が少ない。	●校区で通学可能な支援学校と小学校。又は、地域との連携や交流を進め理解に繋げる。 ●障がい者（児）の親の悩みを聞く機会を設ける。	●障がい者支援に関する研修会の実施。（障がい者サポート研修、ヘルプマーク、差別解消法（合理的配慮）、虐待防止等） ●障がい者相談支援センターの周知を行う。 ●支援学校に会員になってもらい相互連携を図る。
			●災害時の避難の支援体制	●個人情報保護の関連で実状把握が困難。	●日頃から地域の障がい者の把握や情報提供・声かけを行うようにする。	●要援護者等を含めた避難実施計画の策定。
	未来を担うこどもを大切	子ども・子育て	●地域とのつながりが希薄化	●個人情報保護の関連で実状把握が困難。 ●共働き家庭の増加で子供の放課後の居場所が少ない。 ●一人親家庭への支援が不足している。 ●子育て世代に対する支援が不足している。	●学習支援センターの活用（4町内に開設）。 ●子どもサロン（食堂）の開催。 ●子育て世代への情報の発信と収集。 ●地域リーダーの育成。	●ぴよぴよクラブの開催。 ●わくわくごはんの実施。 ●子育て支援ネットワーク会議の開催。
			●交通量が多く安全な登下校が困難。	●スクールゾーンの中に交通危険箇所がある。 ●道が狭いところがあり、登下校時など危ないことが多い。	●危険箇所の周知を広報活動を通じて行う。	●広報誌を作成し回覧板を利用して配布を行う。
	支え合いのまちで安全なまち	災害・防災	●地域住民の防災に対する意識の向上	●家庭内の備蓄食料等の準備が不足している。	●平時より災害発生を想定した家庭内の備蓄食料等の情報提供を行う。	●避難訓練の実施。 ●ハザードマップを各世帯配布。 ●避難所運営委員会との連携を図る。 ●関係各所と連携し防災マップを見直し情報提供を行う。 ●消防署と連携し講習会等を開催する。
			●災害時における避難情報の伝達	●隣近所との付き合いが希薄になっており避難時に不安がある。	●日頃から周囲や要配慮者等への声かけを行うようにする。 ●災害が発生しやすい6～8月頃にチラシ等で避難所の案内を行う。 ●防犯についての情報提供を行う。	
	で交流みで良顔いの見える清潔	その他	●地域のゴミ問題	●地域以外の人が収集日以外にゴミを持ち込んでカラスに荒らされている。 ●犬の糞の処理をしない人がいて困る。	●掲示板設置やチラシの貼付け等の広報活動でルールの周知徹底を図る。	●町内毎に掲示物の確認を行う。 ●広報誌を作成し回覧板を利用して配布を行う。 ●わくわくごはんの実施。 ●日吉東まつりの実施。
			●地域役員のなり手が少ない。 ●空き家、空き地の有効活用	●コロナ禍で行事・イベント等が減少し地域の交流が希薄化している。	●若い世代との交流事業の実施。 ●地域行事の実施。 ●人材育成事業の実施。 ●行事・イベント等への企業・事業所の協力を求める。	